

2013.

1/15
vol.177

まいばら

ひととまちをつなぐ! 市政情報誌

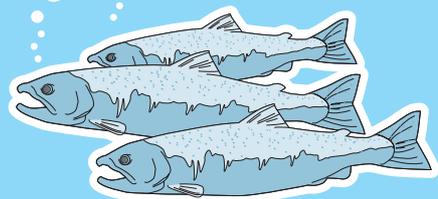


主な内容

ビワマス通信 ～プロジェクト活動フォトレポート～	2
堆肥「ゆめいぶき」予約受付を開始	4
障がい福祉団体からのPRメッセージ	5

次回の広報まいばら発行日 2月1日号 1月31日(木)

ビワマス 通信 vol.7



生物多様性の保全を進めるモデル事業

天野川に琵琶湖固有種のビワマスが遡上できる環境をつくってまちづくりを進めようと、市では県や関係機関とともに「天野川ビワマス遡上プロジェクト会議」を設置しています。

天野川ビワマス遡上プロジェクト会議
事務局
経済環境部 環境保全課(伊吹庁舎)
☎58-2230
☎58-1630

プロジェクト活動 フォトレポート①

五感で楽しむビワマスイベント ビワマスシンポジウム・紅葉ます祭りを開催

11月18日、秋が深まる醒井養鱒場で、地域の豊かな自然やビワマスの魅力に触れることを目的に、ビワマスシンポジウムと紅葉ます祭りが開催されました。

シンポジウムでは、琵琶湖博物館の藤岡上席総括研究員、徳島大学の浜野教授、ビワマス倶楽部のメンバー、泉市長などが登壇し、ビワマスやビワマスを取り巻く地域の自然環境に対する思いについて語り合いました。これまでからビワマス遡上プロジェクトの魚道設置などをご指導いただいている浜野教授は、「魚道

が魚の通り道としてだけではなく、みんなが集える憩いの場所になれば」と話され、ビワマス倶楽部の活動に参加している滋賀県立大学の石川和也さんは「実際にビワマスが産卵している姿を見て感動した。若い人にもっと参加してもらって、魚道を上流にまで広げていきたい」と、生命の営みを目の当たりにした感動を話しておられました。最後に、泉市長が、「このプロジェクトが豊かな自然の再発見となり、ますます米原市が活性化していけば」と今後の活動に期待の言葉を述べ、シンポジ

ウムは幕を閉じました。

また、紅葉ます祭りは醒井養鱒場の主催により、毎年開催されているもので、この日の会場には、塩焼きやみそ汁などビワマスを味わう振る舞いコーナーや、ビワマスの生態に関するパネル展示コーナーが設けられたほか、市もプロジェクトの取り組みについての展示やビワマスの卵を家庭で育てる「冷蔵庫ふ化実験」用の卵の配布を行いました。ペットボトルを持参した子どもたちは、卵に興味津々で、オレンジ色をした小さな命に目を輝かせていました。こうした取り組みを通じて、子どもたちに地域の自然や命を大切に思う心を育んでいくこともプロジェクトの目的の一つです。



シンポジウムでは、それぞれのビワマスへの熱い思いが語られました。



子どもたちも卵を手にとり、にっこり。ぜひ春の放流イベントにも参加してくださいね。



ビワマスの卵を受け取る参加者のみなさん。約120人の市民のみなさんに実験にご協力いただくことになりました。



会場内には、ビワマスの生態などを紹介するパネル展示や映像放映を行って、ビワマスを身近に感じていただきました。

みんな育ててるビワマスの赤ちゃん 息長小学校でビワマスふ化実験スタート!

息長小学校内には、天野川からの水路が引かれていて、川は子どもたちにとって身近な存在です。そんな息長小で、天野川ビワマス遡上プロジェクトの一環として、5年生の子どもたち40人がビワマスふ化実験に取り組んでいます。

実験は昨年の11月22日にスタートし、この日は特別授業として、琵琶湖博物館の藤岡上席総括研究員からビワマスの生態などについてのお話を聞き、その後、実験の方法や注意点、醒井養鱒場の歴史などについても学習しました。はじめてビワマスの卵を見た子どもたちからは、かわいいなど大きな歓声が上がっています。

した。

実験に使っているふ化実験装置は、校内を流れる天野川からの水路の水をポンプでくみ上げ、小屋の中に設置した水槽に水を流す仕組みになっています。子どもたちは水槽のビワマスの卵を毎日観察し、実験開始からおよそ1週間後の11月29日にはふ化第1号が確認され、12月上旬にはほぼ全てのビワマスたちが順調にふ化しました。(約1,000匹)

今回の実験でふ化したビワマスは、4〜5cm程度になるまで小学校で飼育され、3月には天野川に放流される予定です。ビワマスは、3〜5年かけて琵琶湖で成長し、産卵のために再び生まれ育った川に戻ってくる習性を持っているので、天野川に戻ってくるのが楽しみです。また、この飼育および観察を通して、琵琶湖の固有種であるビワマスや身近な河川など地域の自然について、子どもたちの関心が高まることを期待されます。



今回の実験でふ化したビワマスは、4〜5cm程度になるまで小学校で飼育され、3月には天野川に放流される予定です。ビワマスは、3〜5年かけて琵琶湖で成長し、産卵のために再び生まれ育った川に戻ってくる習性を持っているので、天野川に戻ってくるのが楽しみです。また、この飼育および観察を通して、琵琶湖の固有種であるビワマスや身近な河川など地域の自然について、子どもたちの関心が高まることを期待されます。

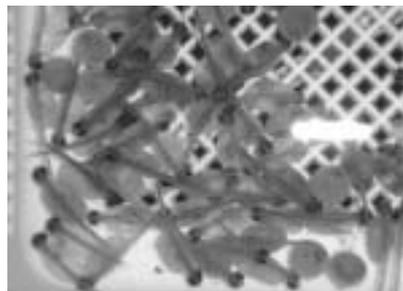
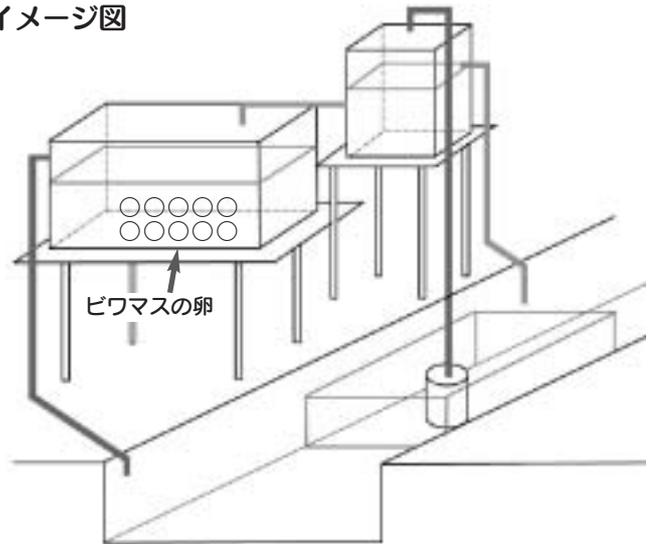


ビワマスの生態の話を真剣に聞く子どもたち。自分たちが育てたビワマスが天野川に戻ってくるのが楽しみだね。



養鱒場の養殖ビワマスの唐揚げを試食し、地域の自然がむ食文化についても学習。ビワマス倶楽部のメンバーの方に先生役としてご協力いただきました。

息長小学校のふ化実験装置イメージ図



この実験装置は、天野川からの水路の水をポンプでくみ上げて、ビワマスの卵が入った水槽に水を流す仕組みです。

無事にふ化したビワマスの稚魚たちは元気に泳ぎ回っています。

堆肥「ゆめいぶき」 予約受付を開始します

堆肥を利用した安全で
おいしい農作物を育て「地産地消」を目指そう



家庭から排出される生ごみなどを原料とした堆肥「ゆめいぶき」を販売します。今回は、7kg入りのみの販売です。

予約方法

予約受付期間内に環境保全課(☎58-2230)にお電話いただくか、環境保全課(伊吹庁舎)の窓口でお申し出ください。

*予約はこの電話番号のみの受付で、他の電話番号やファックスでの予約は受付できません。

予約受付開始日

2月5日(火) 8時30分

この堆肥は、毎回好評をいただいていますので、早めにご予約ください。予約は、予定数量に達した時点で締め切りますので、ご了承ください。

堆肥受取期間

3月5日(火)～3月18日(月)

*期間を過ぎた場合は、キャンセル扱いとします。

受取場所と時間

袋詰10袋まで

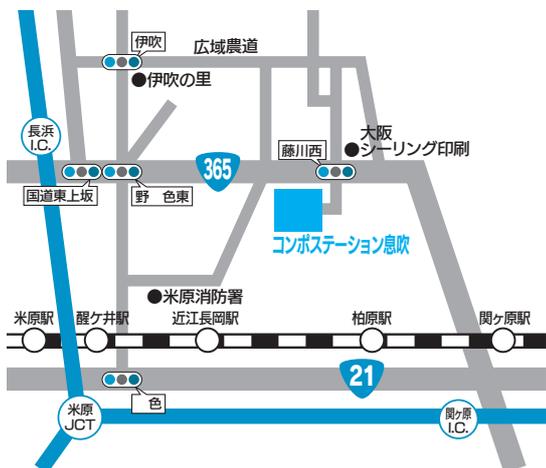
市役所各庁舎

平日 8時30分～17時15分

右記以外

コンポステーション息吹(藤川)

平日 9時～16時



販売する堆肥 …… 3種類の堆肥を販売します。成分や原料を参考に予約してください。

堆肥の種類	窒素 (%)	りん酸 (%)	加里 (%)	炭素窒素比	原 料	販売量 (予定)	価 格
ゆめいぶき1号	3.1	3.0	3.2	10.0	生ごみ、牛糞、米糠、もみ殻、刈草剪定枝	2,500袋	袋詰(7kg入り) 1袋 200円
ゆめいぶき2号	3.2	3.8	2.4	9.0	農業集落排水汚泥、もみ殻、米糠、刈草剪定枝	1,000袋	
ゆめいぶき3号	3.0	3.3	3.7	8.0	牛糞、もみ殻、米糠、刈草剪定枝	500袋	

*今回は、ゆめいぶきの生産量が少ないため、フレキシブルコンテナによる販売は行いません。

*生産状況により、数量、内訳は変更になることがあります。

*一度に購入できる限度数は「1人あたり袋詰50袋まで」です。

一般販売のご案内

今回の受付で予約できなかった方や50袋以上の購入を希望される方は、一般販売をご利用ください。

- 販売日時 平成25年3月19日(火)9時から先着順で販売します。
- 販売場所 コンポステーション息吹 米原市藤川153
- 販売数量 1,000袋



ゆめいぶきの

特 長

- * 堆肥化に長時間かけた熟度の高い堆肥
- * 発酵の過程で65度以上の発酵温度となっていることを確認した衛生的な堆肥
- * 1グラムあたり数十億の豊富な微生物が存在する堆肥

障がいがある方の社会参加や、そのご家族を支えることなどを目的に活動されている福祉団体をご紹介します。

誰もが共存できる社会づくりについて、この機会にみんなで考えてみませんか。

PR

障がい福祉団体からのメッセージ

米原市視覚障害者福祉協会

会員数30人

会長 廣瀬 正美さん 連絡先 ☎54-0794

見えない、見にくいという障がいがあると、外出するのが不安で、家に閉じこもりがちになっていませんか。私たちの協会では、同じ障がいを持つ人が集まり、社会参加と日常生活の向上を目指して、学習会や歩行訓練などの活動に取り組んでいます。

2月に開催予定の点字講習会をはじめ、ともに歩いていく仲間を募集しています。ボランティアのみなさんに活動を支援していただいていますので、安心してご参加ください。

米原市精神障がい者家族の会 あざみの会

会員数4人

会長 松本 義信さん 連絡先 ☎55-3763

「あざみの会」は、身内に精神障がい者を持つ家族の集まりです。ここでは、人に話しにくい悩みを打ち明けて語り合ったり励まし合ったりするほか、こころの病気に対する誤解や偏見をなくすための啓発も行っています。

1月23日には家族会を開催します。その他、研修旅行や学習会も予定していますので、参加希望の方はお気軽にご連絡ください。

手をつなぐ育成会

会員数69人

会長 南浮 久さん

連絡先 ☎54-3105 (事務局 米原市社会福祉協議会)

育成会では、障がいのある子や親などが集まり、学習会や情報交換などの活動をしています。伊吹・山東・近江・米原にそれぞれ支所があります。年間を通じていろいろな行事を企画していますので、親子で参加していただくこともできます。

障がい者の問題は、障がい者だけではなく、地域みんなの問題です。どなたでも会員になれますので、ぜひご連絡ください。

米原市手話サークル ゆいの会

会員数31人

会長 南浮 久さん 連絡先 ☎55-1959

東日本大震災では、障がいを持った人の死亡率が健常者の2倍だったと報道されていました。こうした悲劇を減少させるために、一人でも多くの方が手話を身につけることが大切だと思います。

「ゆいの会」は、「かもかも手話サークル（山東生涯学習センター）」と「天の川手話サークル（近江公民館）」の2か所で活動しています。手話に興味のある人は、ぜひご連絡ください。

●活動日 毎週木曜日19時30分～
(両サークルとも)

障がい者福祉についてのお問い合わせ
健康福祉部 社会福祉課 (山東庁舎)
☎55-8102 ☎55-8130

健康きらい

生活に

目標をもつこと

〜 米原市在住 T・Sさん(30歳代女性) 〜

健康づくりに積極的に取り組んでいる人を紹介します。

結婚して体重が10キロ以上増加し、米原市の健診を受けたところ、血圧や肝機能の数値まで上がってしまいました。子どもを授かりたいと思っていた私は、このままでは妊娠しにくいとの思いから体重を減らそうと決心しました。

不妊の相談をしている大学病院での栄養指導や市の保健指導を受け、1日の食事や間食の内容と量をすべてレポートに記録するのと、毎日体重を測ることを実践しました。そして大好きだったお菓子をほとんど食べないようになり、野菜を多く摂り、食事の最初に野菜を食べるようにしました。

その結果、4か月後には体重が10キロも減少し、血圧も正常になりました。膝の痛みや肩こりがなくなり、また、気持ちも明るくなり強くなったと思います。大学病院でいろいろな検査をし、つらいことやあきらめそうになったこともありませんが、体重が減り、数値がよくなり出してから、絶対あきらめてはいけないということが、すごくよくわかりました。私は、生活に確かな目標をもつことにより体重を減らすことができました。これからも私は目標に向かって、明るく笑って人生を歩んでいきたいと思っています。



食事レポート

平成24年7月の健診結果

体重 72.6kg
BMI 32.2 腹囲 95.5cm
血圧 142/84

4か月後は・・・

平成24年11月の健診結果

体重 63.6kg(-10kg)
BMI 28.6 腹囲 85.4cm
血圧 106/70

<担当保健師よりひとこと>

本当によくがんばられましたね。お見事です。

肥満は妊娠しにくいだけでなく、妊娠糖尿病や高血圧症候群になりやすく、分娩時の危険リスクも高くなります。

今後は、ご家族とともに、無理をせず自分のペースで、引き続き目標に向かって生活してください。

BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

お問い合わせ 健康福祉部 健康づくり課 (山東庁舎) ☎55-8105 ㊟55-2406

地域包括 支援センター だより

認知症に強い脳をつくる 適度な運動で 「バランス力」アップ



歩行に必要な機能の一つに「バランス力」があります。この能力が低下すると、ちょっとしたアクシデントで転倒するということが起こってきます。

「小脳」をご存じですか？脳の一部分を指す言葉で、大脳の後ろについているカリフラワー状をしたところを言います。

言葉の示すとおり、大脳よりも小さい脳ですが、神経細胞は大脳の約5倍の600〜800億個も存在しています。小脳は、身体運動の調節や平衡感覚をとるのに重要なところなので、このバランス力とも密接に関係しています。

体は、使わないと退化萎縮してしまいます。特に冬場は、家の中に「閉じこもり」がちになります。そうすると、全身の運動機能や意欲、知力の低下が進み、認知症を発症するきっかけとなることもあります。適度な運動をして、認知症に強い脳をつくりましょう。

「まいばら体操」では、家の中でできる簡単な運動を紹介しています。冬場の健康づくりに活かしてみよう。

伊吹山テレビで、1月〜3月の第1金曜日から1週間、「まいばら体操」の短縮バージョンを放送します。ぜひご覧ください。

毎日、前後左右に動くトレーニングをしています。

伊吹山テレビの放送を録画してやっています。

簡単な体操で87歳の私でもできそうです。

サロンや老人会でやってみます。

「まいばら体操」体験者の声



お問い合わせ 健康福祉部 福祉支援局 (山東庁舎) ☎55-8110 ㊟55-8130

まいばらんす 給食レシピ



バランスのとれた食生活を送れていますか？給食の献立を参考に、ご家庭での食事を見直してみてください。

12月14日(金)の給食



米原市の給食では世界や全国各地の郷土料理を献立に取り入れた「食べ物の旅」を毎月実施しています。12月のテーマは「鳥取県」で、特産品の砂丘らっきょうや20世紀梨、大山炊き込みごはんなどを給食に取り入れました。「豚肉のらっきょうソース」は、らっきょうの程良い酸味と甘みでおいしく食べられると、子どもたちからも好評の一品。ぜひご家庭でもお試しください。



お試しメニュー



豚肉のらっきょうソース

材料 (4人分)

ぶたもも 1.5cm角切り 200g	<らっきょうソース>
「おろししょうが 小さじ1/2	らっきょうの甘酢漬け 12g
A しょうゆ 小さじ1	赤ワイン 大さじ1/2
料理酒 小さじ1	さとう 小さじ1
薄力粉 適量	しょうゆ 小さじ1
片栗粉 適量	トマトケチャップ 小さじ1
揚げ油 適量	水 20ml

作り方

- ① ぶたももは1.5cm角に切る。
- ② ①にAの調味料で下味をつける。
- ③ らっきょうソースの調味料を鍋であたため、ソースを作る。
- ④ 薄力粉、片栗粉を合わせて、②に粉をまんべんなくつけ、油でぶたももを揚げる。(175℃で約4分間)
- ⑤ ④を取り出し、③のソースとからめてできあがり。



シリーズ

多文化共生

お互いに認め合いながら
暮らせる地域づくり

「日本語はやっぱり難しい？」

～ 日本語教室 (プレ教室) を開催 ～

米原市多文化共生協会では、外国籍市民の方に日本語を学んでいただこうと「日本語教室」の開催を検討し、12月8日から10回シリーズでプレ教室を開催することになりました。プレ教室は、来年度以降の本格的な稼働に備えて、受講者の要望などを聞きながら、ボランティア体制などを整えるものです。日本で生活するために最低限必要なレベルの日本語を話せるようになることを目的として、毎週土曜日の午後開催しています。

初回となったこの日は、ブラジル籍と中国籍市民の方3人が受講。協会のボランティアのみなさんから日本語を一つ一つ確認しながら学ばれていました。受講者によりレベルも違い、まずは平仮名の練習から始められる方もおられます。

参加された外国籍市民の方からは「とても勉強になった。あっという間に時間が経ったので、もっと時間あればよかった」と好評でした。

ボランティアも外国籍市民に教えるのが初めてという方がほとんどで、教室終了後の反省会では「とにかく、やさしい日本語を話すように心がけよう」と話し合いました。今後受講者がさらに増え、多文化共生のまちづくりが推進されることが期待されます。



教えるボランティアの方も戸惑いながらのスタート。受講者がさらに増え、日本語を楽しく学べる場となれば幸いですね。



米原公民館を会場に10回シリーズで行われています。

お問い合わせ
米原市多文化共生協会事務局
(米原庁舎 人権政策課内)
☎52-6629 ☎52-4539

米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く 94

龍神信仰と雨乞い

— まいばら水の歴史③ —

蛇と龍は水の神

辰年から巳年にかわりました。蛇(巳)は、脱皮を繰り返して生命が更新される不思議さ、一撃で敵を倒す猛毒などが尊崇され、さらに頭部の外形が男根に似ることから子孫繁栄の神となり、とぐろを巻く姿が円錐形の美しい山容に見立てられて山の神となります。農耕社会では野ネズミの天敵として稲作の神に転じ、仏教と結びついて龍になり「水の神」となります。

米原市には、伊吹山と霊仙山という水の神を祀るふたつの霊山があります。

伊吹山は、縄文時代から神の棲む山として敬われていたようで、山麓の遺跡からは、祭祀に関係する石棒などの石器が県内屈指の質と量で見つかっています。また、古代神話の英雄ヤマトタケルを退け、死に至ら

しめた荒ぶる神の棲む山として『古事記』(七十二年)や『日本書紀』(七

二〇年)に登場します。この物語では、伊吹の神は白い猪や大蛇となって登場します。猪は多くの子どもを産むことから、縄文時代には豊穡祈願や子孫繁栄の神であり、弥生時代になると、豊作祈願の神となって山から里へ迎えられます。蛇は、前述のとおり水神です。このことは、山麓に豊穡をもたらす水分の神が伊吹山の神の姿であることを明確に物語っています。伊吹山四ヶ寺のひとつ長尾寺(天久保)の縁起には、伊吹山頂に八

大龍王の筆頭「難陀竜王」が棲んでいることが記されています。伊吹山の神は山麓の伊夫岐神社(伊吹)に祀られ、ここを水源に開鑿された「出雲井」は、大原庄(米原市大原学区)および郷里庄(長浜市北東部)一帯の水田を潤し、水の神として厚い信仰を集めています。

伊吹山や霊仙山は石灰岩地で、山中に独特のカルスト地形が発達し、ドリーネという窪みに水がたまって池になっているところがいくつかあります。霊仙山中には、「龍神池」「お虎が池」「尼が池」「本池」「権現池」や登山道沿いに霊仙神社の鳥居が建つ「お池」などがあり、これらの池は龍神信仰や雨乞い行事と深くかかわっています。そしてこれらの池から浸透した雨水は、山麓各地に豊富な湧水を供給することから、霊仙山の神も水の神ととらえることができます。このほか、竜神や竜王の棲む山として、水竜山(柏原)、龍宮山(番場)などがあります。

蛇を舞わす

磯には蛇まわしという雨乞い祭りがありました。蛇頭にペンガラを塗りつけ、目と角に金紙、頭の上の宝珠と尾の宝剣に銀紙を貼り、厚手の天竺木綿で幅一・五m、長さ一〇mばかりの胴体を作り、うろこを描いた蛇を社殿に供えたあと、境内を練り歩きながら琵琶湖に入り、降雨を祈願しました。蛇頭が納めてある木箱には「文久元年(一八六二)」の年号があり、江戸時代後期には舞わされていたようです。梅ヶ原にも「ジャ(蛇)さん」があり、これは、カマ

首をもたげた白蛇を襦袢に写し描いたもので、板にまかれて桐の櫃に収められているそうです。明治く大正にかけても三回ほど干ばつの際にジャーさんに雨をお願いしたそうで、二時間後くらいに雨が梅ヶ原だけ降ったと伝えられています。多和田・日光寺・顔戸でも、ワラで蛇を作り、太鼓や鉦をたたいて雨乞いが行われました。

(歴史・文化財保護室)



▲ 磯の雨乞いまつり

人権啓発作品を
紹介します



人権作文
最優秀賞

中学生の部 大東中学校三年

中川 理乃さん

「友達へ感謝」

友達は大切にすべきだと思います。

友達と会える楽しみがあるから勉強が苦手でも学校へ行きたいと思えるし、友達がいるから部活のつらい練習もやっつけてこれたし、親にも言えないことが友達には言えるときもあります。

しかし、私は、人を信じるということがなかなかできないし、ひとみりりということもあって友達をつくるのがどちらかという苦手です。小学校の時はそつでもなかったのですが、中学生になって

環境もがらりと変わり、人と接することが苦手になりました。だから、今いる友達が自分からいつか離れていってしまうのではないだろうか、など考えてしまって、つい不きげんな態度をとってしまったり、八方美人になってしまったり、思うようにいかないことが多く、一、二年のころは、いらいらしてしまうことがよくありました。相手の顔をうかがっては、思っていないことに賛成したり、とにかく素でいられない一、二年でした。

それが、三年生になって変わりました。きっかけは、部活です。私は陸上部に入っていて、リレーメンバーでした。陸上は夏季標準タイムという最初から決まっているタイムをきらなければ一年間で一番大きい試合の夏季大会に出場できません。リレーメンバーは、一年生から、ずっと同じメンバーで、今年こそは絶対夏季標準タイムをきって絶対夏季大会に出るという目標がありました。リレーメンバーは、学年関係なしで、走りの速い人、四人が入れます。しかし、私は、後輩にタイムを越されました。タイム的に見ると私はリレーメンバーから外されます。その話が先生からとうとうもち出されました。私は覚悟はしていたけれど涙が

あふれてきて、泣いてしまいました。その時、メンバーのみんなは、私より速い後輩がいるのに、私を入れたこの四人のまま走りた。と言ってくれました。そのみんなの言葉で私はリレーメンバーに残ることができました。本当に感謝しています。しかし、夏季標準タイムを切るための最後のチャンスの試合でリレーメンバーのうち、二人が足を痛めました。そして、メンバーチェンジの案が出されました。リレーメンバーの目標は夏季標準タイムを切ることであったのでメンバーチェンジが成立してしまいました。その二人の分は後輩が走るようになりました。私は、以前、自分がメンバーから外されそうだったとき、みんなが今まで通りのメンバーで走りたいと言ってくれたのに、今回のメンバーチェンジの時、私は二人のために何も反対意見を言うことができませんでした。この時私はとても後かいました。もしあの時私が速やかにメンバーから外れて、タイムの速い後輩と交代していたら、今頃、みんなは夏季標準タイムを切っていたかもしれない。あの時に自分がいさぎよくメンバーからはずれておけば…。と何度も思いました。後悔しても、もうおそいので、二人と、絶対夏季標準タイム

を切るね。という約束をして、ラストチャンスの試合に出ました。絶対に切つてやるという気持ちで試合に出場しました。しかし、切れませんでした。その瞬間あの後悔で頭はいっぱい二人にもうしわけない思いでいっぱいでした。ただ涙が流れてくるだけでした。その時、二人は、

「私たちは後悔してないよ。最後まで走ってくれてありがとう。」と言ってくれました。私たち以上に悔しいかもしれない二人がそんな言葉をくれました。私はこの時、仲間、友達は本当に大切だと思いました。大切にすべきだと思いました。人の顔をうかがうだけの友達ではなく、涙を見せ合える、はげまし合える、支え合える友達は本当に大切だし、必要だと思いました。このように思えたのは多分初めてです。仲間へ感謝して、これからもこの経験を心において、仲間、友達を大切にしていきます。人をもっと信じてみようと思えます。八方美人にはもうならないように一人一人と向き合って、一人一人を大切にしていきたいです。

を切るね。という約束をして、ラストチャンスの試合に出ました。絶対に切つてやるという気持ちで試合に出場しました。しかし、切れませんでした。その瞬間あの後悔で頭はいっぱい二人にもうしわけない思いでいっぱいでした。ただ涙が流れてくるだけでした。その時、二人は、

長浜税務署からのお知らせ

平成24年分の申告から、生命保険料控除の計算方法が変わりました。詳しくはお尋ねください。



● 所得税・消費税の決算・確定申告説明会

説明会では、青色申告決算書・収支内訳書の作成方法などについても説明します。
なお、会場では申告書の受付や個別の相談は行いませんので、ご了承ください。

開催日	時間	会場	内容
2月4日(月)	13時～16時	勤労者福祉会館 「臨湖」 (長浜市港町4-9)	・給与所得や年金所得者等を中心とした確定申告書A様式の記載方法 ・事業所得、不動産所得や農業所得者等を中心とした確定申告書B様式の記載方法 ・消費税等の確定申告書の記載方法

● サラリーマンや年金受給者のための還付申告

確定申告期間前に年金受給者、給与所得者の医療費控除、住宅借入金等特別控除および中途退職についての還付申告会場を開設します。

開催日	時間	会場
2月5日(火)・6日(水)	9時30分～12時 13時～15時30分	米原公民館(米原市下多良3丁目3)
2月7日(木)・8日(金)		長浜市民交流センター(長浜市地福寺町4-36)
2月12日(火)		長浜市役所浅井支所(長浜市内保町2490-1)
2月13日(水)		長浜市役所高月支所(長浜市高月町渡岸寺160)
2月14日(木)		山東公民館(米原市長岡3127)

- *各会場では、パソコンを利用した申告書の作成を推進しています。
- *各会場とも、相続税、贈与税、土地・建物・株式等の譲渡所得等の相談は行っていません。
- *電話でのお問い合わせは、長浜税務署(☎62-6144)に電話していただいた後、アナウンスに従い電話機を操作してください。

年金 所得者の みなさんへ

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をする必要はありません。

- この要件に該当する場合でも、所得税の還付を受けるための申告書を提出することができます。
- 所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要です。

■ 長浜税務署 ☎ 62-6144

自動販売機の設置事業者募集

米原市民交流プラザ(ルッチプラザ)に飲料用自動販売機を設置していただける事業者を募集します。「一般競争入札」で事業者を決定しますので、希望される方は公募要項で詳細をご確認ください。

番号	貸付場所	台数	貸付面積	高さ	予定価格(最低貸付料)
1	米原市民交流プラザ (ルッチプラザ)	1台	0.90㎡	2m 以内	25,300円/年
2		1台	1.17㎡		50,600円/年
3	1階自動販売機コーナー	1台	1.17㎡		50,600円/年

- 要項配布 1月9日(水)～2月5日(火)までの期間、生涯学習課で配布(ルッチプラザの休館日を除く)。市公式ウェブサイトからもダウンロード可
 - 参加受付 1月29日(火)～2月5日(火)
 - 入札執行 2月22日(金)10時～
- 市教委 生涯学習課(ルッチプラザ内) ☎ 55-4550 FAX 55-4556

食育料理教室「みそ作りに挑戦！」

柏原田園交流センターみそ加工部のみなさんにご指導いただきながら、みそ作りを体験します。また、みそを使った簡単メニューにも挑戦します。

- 日時 2月23日(土)
9時30分～12時30分
 - 会場 米原市立東部給食センター
(米原市長岡2360番地)
 - 定員 25名(親子でもご参加いただけます)
 - 料金 500円
*作った味噌はお持ち帰りいただきます。
 - 申込 住所、氏名、電話番号を電話またはファックスで下記までご連絡ください。
 - 締切 2月8日(金)
※申込多数の場合は抽選
- 健康づくり課(山東庁舎) ☎ 55-8105 FAX 55-2406



思いやり
笑顔いきかう
滋賀の道

米原市内の交通事故 (平成24年12月31日現在) ※カッコ内は前年比

件数 145件 (-31件)、死者 2人 (-3人)、傷者 197人 (-19人)

催し アクティブシニア交流会
～男の料理教室～

今回は、おからドーナツやミルク餅、フライピーズなど、豆を使ったおやつ作りを学びます。
日時▶2月9日(土) 13時～16時予定
場所▶ルッチプラザ 1階調理室
参加費▶1,000円
持ち物▶エプロン、三角巾、タオル、筆記具
申込締切▶2月5日(火)
■事務局 ☎ 55-0624(茶木)

催し 第20回
びわ湖一斉水鳥観察会

さまざまな水鳥が集う琵琶湖の冬景色を楽しみませんか。お気軽にご参加ください。
月日▶2月3日(日)小雨決行・荒天中止
時間と会場▼
○8時50分 犬上川河口(彦根市) 県立大学北側駐車場集合
○9時30分 湖北野鳥センター(長浜市) 湖北野鳥センター集合
*観察会は、その他県内各所で開催します。詳しくはお問い合わせください。
対象▶どなたでも
(小学生以下は保護者同伴)
持ち物▶筆記用具、双眼鏡など
■琵琶湖ラムサール条約連絡協議会 (県自然環境保全課内)
☎ 077-528-3480

冬のイベント情報 県境を越えて出かけてみよう!

米原市が加盟している「福滋県境交流促進協議会」の構成市町で開催される冬のイベントです。福井と滋賀の県境を越えて交流を深め、魅力あるまちづくりにつなげていきましょう。

■ 市 政策調整課(米原庁舎) ☎ 52-6626 FAX 52-5195

月日	開催場所	イベント名	内容	お問い合わせ先
1月20日(日)	敦賀市 相生町 西町通り	敦賀西町の綱引き	400年以上続く伝統行事。豊作・豊漁を祈願して約50メートルの綱を引き合います。	敦賀市 文化振興課 ☎0770-22-8152
	美浜町 日向	水中綱引き	厳寒の中、運河に若者たちが飛び込み、水中で引きちぎった大綱を海の神に捧げます。	美浜町 観光協会 ☎0770-32-0222
	美浜町 レークセンター	美浜町 レークセンター “冬の陣”	水中綱引き関連イベント。つきたてのお餅の振る舞いや干物やへしこの販売も。	美浜町 商工観光課 ☎0770-32-6705
2月 2日(土)	マキノ高原 マキノスキー場	たかしまキノ ウインターフェスティバル2013	マキノピックランド直送のジェラート早食い競争などマキノならではの冬のイベント。	マキノツーリズム オフィス ☎0740-28-8002
	朽木 スキー場	くつき 雪まつり 2013	先着300名に猪汁の無料サービス! ソリスラロームや雪中宝探しなど楽しみがいっぱい。	朽木 むらおごし公社 ☎0740-38-2770
3月 2日(土)	小浜市 神宮寺 ~鵜の瀬	水清き国・若狭小浜 「お水送り」	奈良東大寺の「お水取り」に先がけて、おごそかに繰り上げられる伝統的の神事です。	若狭おばま 観光案内所 ☎0770-52-2082
3月10日(日)	高島市今津町 ザゼンソウ 群生地	2013今津 ザゼンソウ まつり	今津の町並みから群生地までのウォーキングなど。(参加費 1,000円/定員120人)	今津まちづくり 情報センター ☎0740-33-7155
2月15日(金) ~ 3月 8日(日)	高浜町 本町商店街	第9回 若狭高浜 ひなまつり	豪華絢爛な段飾りや江戸時代のひな人形など約100点を展示します。甘酒の振る舞いも。	若狭高浜 観光協会 ☎0770-72-0338
1月19日(土) ~ 3月10日(日)	長浜市 慶雲館	長浜盆梅展	純和風の座敷に盆梅をずらりと展示。高さ3m近い巨木や樹齢400年を超える古木も。	長浜市 観光振興課 ☎0749-62-4111
2月10日(日) ~ 4月18日(木)	長浜市 大通寺	大通寺 「あせび展」	鈴蘭に似た壺型の可憐な小花を房状につける馬酔木の盆栽展。約100鉢が並びます。	大通寺 ☎0749-62-0054

今月の表紙
手作りでしめ縄を!



12月20日 山東公民館で「しめ縄づくり教室」が開催されました。
自分たちの力で縄をしめ、きれいに形を整え完成させるまでの工程に、様々な工夫を凝らされていました。手作りのしめ縄で、素敵な一年になりますように!

「障がい者控除」対象者認定について

介護保険の要支援・要介護認定を受けておられる等で、一定の要件を満たしている方や、その方を扶養している人は、確定申告等で障がい者控除を受けることができます。

控除を受けるには市が発行する「障がい者控除対象者認定書」が必要となりますので、市役所各庁舎まで申請してください。

認定の基準

- 介護保険認定調査票の「認知症高齢者の日常生活自立度」がII、III、IVまたはMの判定を受けておられること。
- 身体障害者障害程度等級表に基づく対象者の障がいの程度が、指定医の診断書等により1級から6級のいずれかの判定を受けておられること。
- 介護保険認定調査票の「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」がBまたはCと判定されておられ、かつ6か月以上寝たきり状態であると読み取れること。

■ 市 社会福祉課(山東庁舎) ☎ 55-8102 FAX 55-8130



スキー場での盗難事件が多発しています。貴重品等を十分に管理しましょう。

米原市内の犯罪発生状況 (平成24年12月31日現在) ※カッコ内は前年比
総数 292件(+46件)、侵入盗 28件(+6件)、非侵入盗 131件(+25件)
乗物盗 65件(+10件)、その他の刑法犯 68件(+5件)

困ったときは
米原市消費生活相談窓口へ
(米原庁舎1階)
相談専用 ☎52-8088
受付 平日 9時30分～16時

2013.1/15

編集
発行

米原市役所

広報秘書課

〒521-8501
滋賀県米原市下多良三丁目3番地
☎0749(52)6627

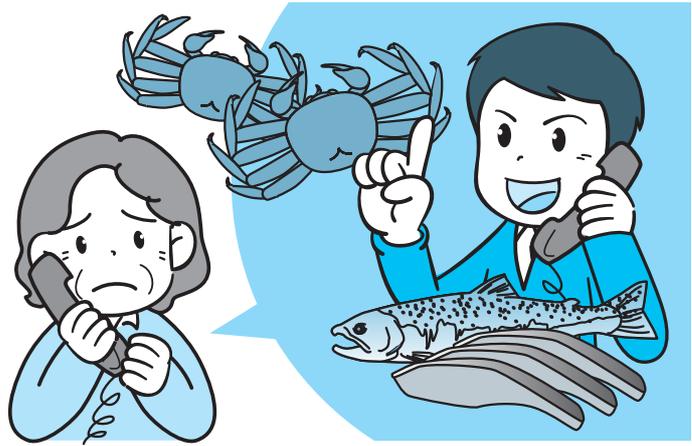
☎0749(52)5195



発行日
Eメール
サイト
http://www.city.maibara.lg.jp/
koho@city.maibara.lg.jp
平成25年1月10日(木)

カニなどの魚介類など、海産物の電話勧誘にご注意!

「カニは好きですか、サケは好きですか」とか、「市場の残り物なのでお安くしておきます」などと言って電話をかけてきて、断っているのに強引に勧誘する手口が増えています。中には「以前、お買い上げいただいたお得意様に30周年記念の昆布を無料で差し上げます」などと言って電話をかけてきて、以前買ったことがあった業者と思わせ信用させるという手口もあります。



PIO-NETに寄せられた相談件数の推移

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012
相談件数	390件	2,047件	2,645件	4,606件	2,429件	1,126件(前年同期1,307件)

*PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク・システム)は、消費者から消費生活センターに寄せられた消費生活相談情報の収集を行っているシステムです。
*相談件数は2012年10月31日現在のもので、「魚介類」の「電話勧誘販売」などに関する相談を集計しています。

カニなどが届いてしまったら!

断ったのに届いたときは受け取り拒否できますが、うっかりして受け取ってしまったら、受け取った日から14日間(業者に引き取りを請求した日から7日間)を過ぎると自由に処分できます(生鮮食料品などは保管には気をつけてください)。

●強引に契約させられた場合は、クーリングオフも可能です。商品名や業者名や連絡先などがきちんと書かれた書面を受け取ってから8日間に契約解除通知を書面に出しましょう。このとき商品を受け取っていたなら返送費用は業者の負担となります。

- 代金引換で届いた場合、支払ってしまうと代金を取り戻すのは困難ですので、身に覚えのないものは安易に受け取らないようにしましょう。
- どうしても購入したい場合は必ず業者名、連絡先、責任者名などを確認して契約書などの書面をもらいましょう。名称や連絡先を告げない業者からの購入は避けた方がいいでしょう。
- 海産物に限らず、強引な電話勧誘にはご注意ください。そして、困ったときは、一人で悩まないで消費生活相談窓口にご相談ください。



人口40,683人(+17) 男19,951人(+2) 女20,732人(+15) 世帯数13,763世帯(+14)

人のうごき

65歳以上の人口 10,354人 高齢化率 25.45% ※カッコ内は前月との比較【平成25年1月1日現在】